

県民の森の植物 No.84 ミヤマイボタ（モクセイ科 イボタノキ属）

落葉低木、通常は高さ1～3mになるそうですが、標高の高い県民の森では高さ約30～80cmほどで、冬は雪に埋もれています。「イボタノキ」の仲間で、山深い場所に生えることから「ミヤマイボタ」。別名、奥山の意味で「オクイボタ」とも呼ばれます。「イボタ」は本種に寄生するカイガラムシから採れる白蠟（はくろう）で疣（いぼ）を取ったことから「イボトリ」が「イボタ」になったそう。花は初夏、枝先に白い花をつけます。秋に黒い球形の実ができて雪が降っても残っていることが多いです。落葉は遅く、他の木々がほとんど落葉しても、まだ林床で葉をつけている姿はとても目立ちます。



芽吹き 2024/4/19



新緑 2024/6/30



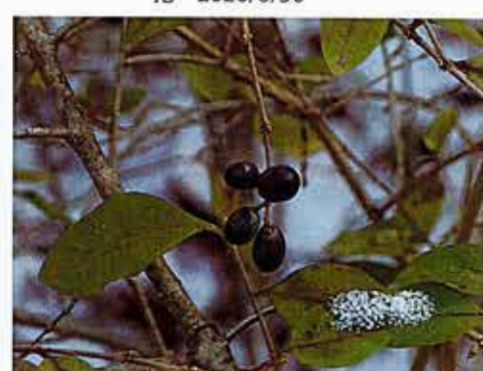
花 2020/6/30



若い実 2022/9/8



黄葉 2024/11/5



熟した実 2024/11/24